

## (1) 事業概要

主な事業者	大成建設株式会社、横浜市
事業地	神奈川県横浜市戸塚区
施設名称	大成建設技術センター
面的利用エリア面積	約25,345m <sup>2</sup> (施設全体面積)
主な再生可能エネルギー	太陽光発電、燃料電池の排熱利用
面的利用先	大成建設技術センター内の実験棟
主な導入設備	固体酸化物型燃料電池(SOFC)220kW×1台 マイクロコージェネ：25kW×3台 エネルギーマネジメントシステム (AEMS)
事業期間 (稼働予定)	2016年9月～2017年3月 (2018年4月稼働予定)
省エネ効果見込	省エネ量：29kL/年、省エネ率：65.1%

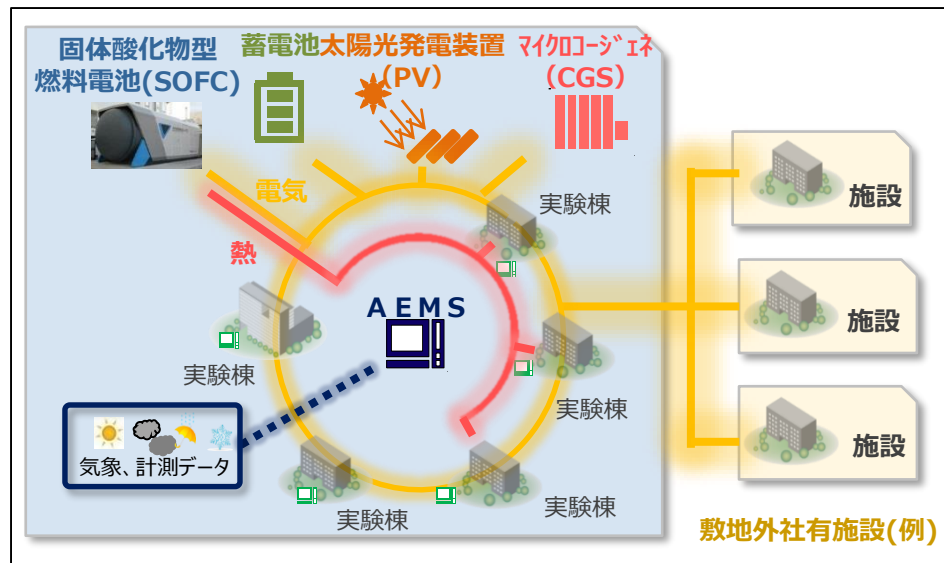
## (2) 事業の特徴

- SOFCの建築物に対する最適運用技術を構築する
- 負荷特性の異なる複数建物のエネルギー最適化をAEMSにて一括管理する
- 変動電源である再エネを有効活用するために、計画地内余剰電力を遠隔地に対して電力自己託送を行う

## (3) 導入効果

- 常時発電と変動電源の組合せにより、電力自己託送も含め、エネルギーの面的利用技術を構築する
- 複数建物間で温水のエネルギー融通を図ることで、従来方式と比較しCO<sub>2</sub>削減70%を見込む。

## (4) 事業イメージ



## (5) 面的利用概要

